

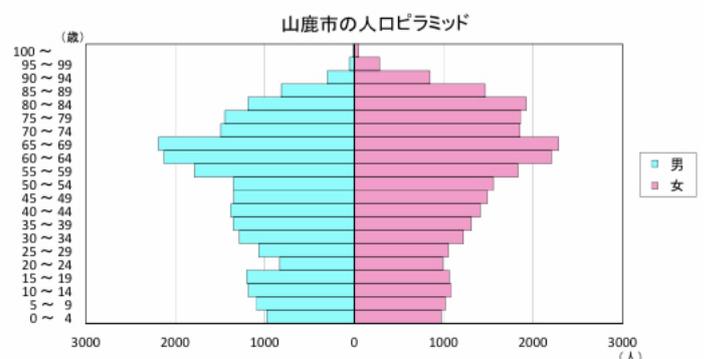
(山鹿の映えスポット発信)

1.研究背景

近年、山鹿市の人口は減少しており、山鹿市の高齢化率は35.6%であり、超高齢社会と言えます。また、それに反して子供の人口は少なく、少子高齢化が進んでいます。どうすれば、この状況を変えられるのかを考えました。まず、少子高齢化が進んでいるという事から、若い人が山鹿市から減っているのではないかと考えました。

どうすれば、若い人を増やすことができるのか、まずは山鹿市に興味を持って貰うことから始めなければいけません。若い人が興味を持つもの、そこで考えたのが、「映えスポット」の発信です。最近ではSNSの普及により、Instagramを使う若者が増え、「インスタ映え」という言葉をよく耳にします。若い人達は、食べ物や風景などの「映える」写真を撮り、文章とハッシュタグを添えてInstagramへ投稿しています。これを上手く活用すれば、きっとたくさんの若い人達に山鹿市に興味を持ってもらえる！そう思い、私たちは山鹿市の「映えスポット」

を発信することにしました。



H27~H30 の山鹿市の人口推移 ↑

H27 山鹿市の人口ピラミッド ↑

2.研究方法

研究を行うに当たって 私たちは次のように計画を立てました。

1. 山鹿の映えスポット探し
2. アンケート
3. 名刺作り
4. 訪問
5. Instagram 開設
6. マップ作成

まずは情報を集め、訪問する為の準備などを整え実際に行って感じた良さや、魅力を発信する為の準備、発信しそのあとどうしたらもっと多くの人に見てもらえるかなどメンバー同士での話し合いを交えながら、試行錯誤しました。

3.結果、考察

① 山鹿の映えスポット探し

まずは、山鹿にはどんな映えスポットがあるのかを探すことから始めました。その際に参考にしたのが、「山鹿探訪ナビ」というサイトです。山鹿の観光について紹介するサイトです。山鹿出身の私たちですが、このサイトがあることすら知りませんでした。そこで、そもそも山鹿もしくは周辺の地域の若い人、私たちの年代で山鹿の映えスポットを知っている人はいるのかという疑問が生まれ、これも調査する必要があると考えました。山鹿出身なのに観光サイトや観光スポットを知らないのなら、外に広めることも難しいのではないかと考えました。

また、「山鹿探訪ナビ」からは、グルメ中心に映えスポットを探しました。なぜなら、グルメならば山鹿に別の目的があって来ていたとしても、ランチなどで気軽に立ち寄ることができます。また、Instagram で映えの対象としてよく投稿されるのは、食べ物が多いと感じたからです。

その中でも、「こちカフェ」「カフェ タンタァ」「AIRA RIDGE」「ひのき屋」へ実際に訪問し、自分達で映える写真を撮って来る事にしました。

② アンケートの実施

先程の活動①での疑問「同年代で映えスポットを知っている人はいるのか」を知るために、同学年を対象にアンケートを実施しました。同時に、Instagram など SNS を利用して発信する際の鍵となりそうな質問も取り入れました。

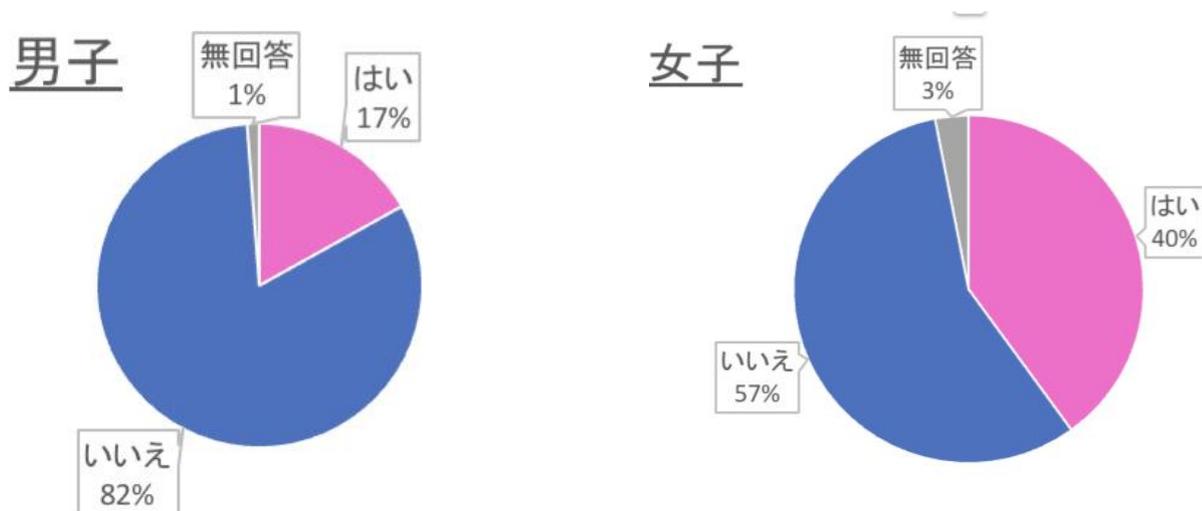
アンケート内容は、

1. 山鹿の映えスポットを知っているか
2. 映えスポットで知っている所
3. カフェなどに行く際にレビューを見るか
4. よく使う SNS

の4つです。

結果は以下の様になりました。

1. 山鹿の映えスポットを知っているか



男子は、「はい」14人、「いいえ」68人、「無回答」1人でした。

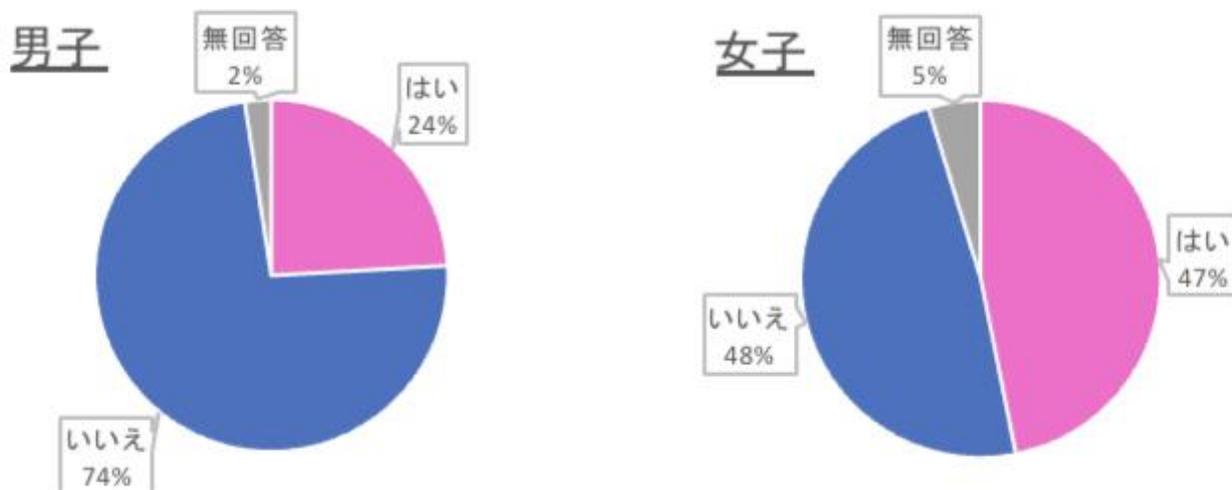
女子は、「はい」が26人、「いいえ」が36人、「無回答」が2人でした。

この結果から、山鹿出身や、山鹿の高校に通う人でも、映えスポットを知らない人が多いことがわかります。まずはその地域の人達にも知ってもらい、足を運んでもらうことも重要なのではないかと考えました。

2. 映えスポットで知っているところ

元々、山鹿の映えスポットを知っている人が少ないので、回答数は少なかったですが、1人でいくつも回答してくれている人もいました。中でも多く回答されていたのは、「An」「AIRA RIDGE」「メトロ・カフェ」など、飲食店が多く 今後調査する時に活用できそうでした。その他に、夕焼けなど田舎ならではの風景を映えとして回答している人もいました。飲食店に限らず、映えの対象として利用できる、1つの鍵になるのではないかと考えました。

3. カフェなどに行く際にレビューを見るか

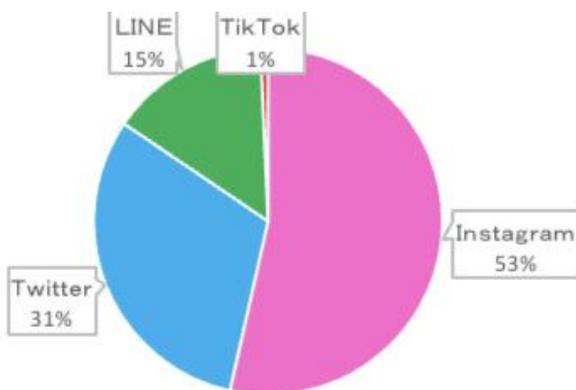


男子は、「はい」が20人、「いいえ」が61人でした

女子は、「はい」26人、「いいえ」37人、「無回答」2人でした。

男子よりも、女子の方がレビューを気にする人が多い様です。しかし、男女ともにいいえの方がはいを上回っています。では、どこで様々なお店の事を知り足を運んでいるのか、私たちの意見やクラスメイト数人に聞いてみた所、「Instagramで見かけて気になったから」「Instagramで友達が行ってる投稿を見て、自分も行きたくなった」などの声がありました。やはり、Instagramは私たちの世代に大きく関わっているようです。

4.よく使うSNS（複数回答可）



Instagramが76人、Twitterが44人、LINEが21人、TikTokが1人でした。

圧倒的にInstagramを利用する人が多く、アンケート3の調査でもあったようにInstagramでの情報発信は必須だと感じました。

③ 名刺作り

カフェを訪問するにあたって、名刺作りを行いました。スマートフォンのアプリを利用して、学校名、学科、氏名、電話番号、ファックス番号を印刷しました。裏面には、私たちの活動内容と、映えスポットを発信するために利用するInstagramアカウントのQRコードを印刷しました。これによって、広く私たちの活動を知ってもらったり、私達の活動の事を覚えてもらったりという効果に期待をし、班員分の名刺を作成し、カフェの訪問の時に渡してもらいました。

名刺作りの案は、生徒同士で生み出したアイデアではなく、「菊池川流域の恵み」体験協議会ワークショップという、菊池川流域の地域で活動をしていらっしゃる方々や、高校生と情報交換ができる場に参加させていただき、そこで頂いたアイデアを元に作成しました。



名刺(表)



名刺(裏)

④ 映えスポット訪問

班員で分担し、活動①で決めた4箇所を訪問しました。その際に、自分達の活動の事を少しお話させて頂

いたり、Instagram への掲載許可を頂いたりしました。

実際に、自分たちで映える写真を撮影し、紹介したいことを文章にまとめました。

「こちカフェ」

とてもお洒落な雰囲気古民家カフェでした。人通りの少ない、田んぼが広がる、のどかな地域にあります。山鹿出身で知っているという人も一部ですがいるようです。店内は落ち着いた、レトロな雰囲気でもとてもくつろぐことができます。前菜にパスタやリゾット、ケーキのセットがあり、どれもとても美味しかったです。飲食はもちろん、ハンドメイドのアクセサリーや服を買うこともできます。残念な事に、3月でお店を閉じてしまうそうなのですが、今後もお店を活用して何らかの企画が行われればとのお話をお聞きしました。閉じられる前に1度は言ってもらいたい場所でした。



「AIRA RIDGE」

菊鹿ワイナリー敷地内にあるカフェです。パンやピザ、ドリンクを楽しむことができます。パンは、道の駅水辺プラザさんと共同開発されたもので、ワインに合う味で作られています。ピザは、季節にあったピザを注文後に釜で焼いて貰えます。店内はガラス張りで、外の広い芝生を眺めることができ、とても開放感があります。遊び道具もあるので、子供連れでも一緒に遊んだり、とても楽しむことができます。

また、隣にはショップがあり、ジェラートやジャムを購入することができます。雰囲気も食べ物もインスタ映えを狙うことができる場所です。



「ひのき屋」

鹿本農業高校裏にあるお弁当屋さんです。朝早くから営業していらっしゃいます。1度、お昼の12時頃に伺ったのですが、すでに全て売り切れていました。朝の間に行くと、ボリュームたっぷりのサンドイッチや、日替わりのお弁当を購入することができます。特に、ボリュームたっぷりのサンドイッチはとてもインパクトがあり、Instagram でも沢山の人の目を引くこともできると思いました。サンドイッチだけでもお腹いっぱいになる

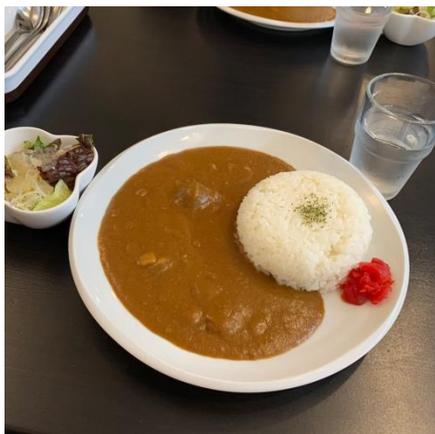


り、Instagram でも沢山の人の目を引くこともできると思いました。サンドイッチだけでもお腹いっぱいになる

ことができます。なんととっても、お店の愛がこもった手作りの味はとても美味しいです。コストパフォーマンスもよく、手学生にも人気ようです。鹿本高校の下宿生にもお弁当を届けているとのことでした。

「カフェ タンタア」

温泉プラザ内にあるカフェです。観光スポットであるさくら湯の隣にある施設なので、観光客の方にも気軽に立ち寄って頂けると思います。オススメのメニューはデミカレーとパフェだそうです。お手軽な値段で満腹になることができます。ランチからデザートまで楽しむことができ、インスタ映えも狙うことができる、とてもいい映えスポットです。



リサーチを行う中で、私たちの活動についてお話をすると、かなり興味を持ってもらうことができました。「高校生ってすごいね」

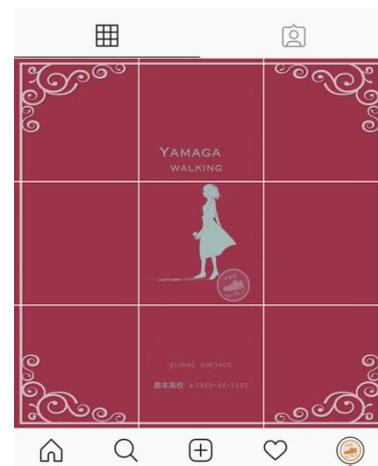
と言って頂いたのですが、私たちが“高校生”であるという点は、大きなポイントだと思いました。

⑤ Instagram 開設

「やまが うおーきんぐ」という Instagram アカウントを開設し、ビジネスアカウントに設定しました。ウェブサイト、ブログにし、アイコンもこだわって作り、できるだけ広い範囲に知ってもらえるようにしました。初めは、同学年のアカウントをフォローしました。フォローバックとして同学年のフォローを得ることができましたが、なかなかそれ以外に知ってもらえる

機会は少ないです。また、訪問したお店や、山鹿のお店アカウントもフォローし

ました。しばらくすると少しずつですが、地域紹介のアカウントからフォローが来るようになりました。初めは投稿しなかったため、フォロワーが増えることは少なかったです。2月25日に、9つの投稿をしました（画像参照）。これらの画像だけですが、1番真ん中の画像へのリーチ数（閲覧数）は122件ありました。そのうち73%が、このアカウントをフォローしていない人達からでした。投稿することは、興味を引いてもらうための1歩なのだ実感しました。



3月3日に、山鹿豊前街道沿いでお店を営んでいらっしゃる方から、ダイレクトメッセージにメッセージをいただきました。今度は豊前街道へ足を運んで、写真を撮ってこようとおもいます。このように、応援して頂けるという事や、色々な方々に私たちの活動に注目されているのだと、とても嬉しかったです。

3月03日 午後8:58

私も卒業生です。

是非、参勤交代でも有名な宿場町豊前街道をよろしく願い致します。

店主



⑥ マップ作成

パンフレットの様な形にして、山鹿の映えスポットを Instagram への掲載と配布という形で広めていくことにしました。

配布を検討したのは、Instagram をしていない人達への情報発信が少なくなりすぎではいけないと感じたからです。元々、若い人を集めるために Instagram での映えスポットを発信することを目的としていましたが、私たちの話し合いや、「菊池川流域の恵み」体験協議会ワークショップで頂いた意見の中で、「Instagram をやっていない人達には発信できない」というものがありました。本当に沢山の人の人知ってもらうために、何らかの形で情報発信ができないかと考え、Instagram にも掲載しつつ、配布もできるパンフレットを作ろうと計画しました。

実際に印刷を試みたのですが、パンフレットとして印刷会社に依頼をするには、かなりの額のお金が必要であることがわかりました。その面も含めて、どうすれば配布という形まで持って行けるのか、検討する必要があると考えました。



パンフレット（上が表、下が裏）

4.結論

今回の研究成果を次のようにまとめました。

1. 山鹿市の色々な店を調べ、実際に訪問することで山鹿にある良さを見つけることができた
2. インスタグラムによってたくさんの方々はこの企画について知ってもらうことができた
3. 映えスポットのパンフレットとマップを作成することができた

5.課題と今後の展望

結果と結論をもとに、課題を以下の様にまとめます。

- PRのためには、自分たちがそのお店の詳しい情報をよく知る必要がある
- 計画の立て方が不十分であり、まだ数軒しか行けていないため、もっと山鹿市の店などについて調べて訪問し、情報発信の要素を増やす必要がある。
- 今回協力してくださった方々だけでなくもっとたくさんの方に認知されるために、要素を増やした上で、インスタグラムの投稿数を増やしたり、他の班と連携して多岐に渡って情報発信を行わなければならない。

今後は、課題で述べたように、沢山の人の興味を引くように、もっと沢山の映えスポットを探し、リサーチを続けて、情報発信する要素を増やせば、もっとよい企画になると考えます。

「隠れ観光スポット」をテーマに情報発信を計画した班との連携をし、他とは違う新しい情報発信を進めていきたいです。

この活動を通して、今まで山鹿市に住んでいても知らないような店や場所があって、改めて山鹿市の良さを実感できました。そしてこの山鹿市にある良さを少しでも多くの人に知ってもらえたと思います。

6.引用

・山鹿市統計資料平成 29 年度版

(<https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/www/contents/1264053611077/files/29.pdf>)

・山鹿探訪なび

(<https://yamaga-tanbou.jp/>)